



河合良郎 代表質問

教育と体罰・暴言の相違点について

区 立学校の教員による体罰・暴言と教育指導との見解及び現在の取り組み状況について問う。

答弁 児童・生徒に身体的苦痛を与える体罰や、人権を侵害する発言は許されないため、教員には人権意識に関する研修などを実施している。

良 い人間関係を築くための、自分も相手も大切にしたい自己表現方法(アサーション理論)に関して、教育現場での現在の取り組み状況について

答弁 教員のコミュニケーション能力向上のための研修を実施している。

医療と介護の連携について

要 介護者や介護している家族の生活の質を向上させて、将来も安心して本区で暮らせるためには、介護提供体制の整備が重要である。施設の適切な配備に関する具体的なビジョンについて区長の考えを問う。

答弁 第5期介護保険事業計画の策定などに向けて「(仮称)高齢者総合サポートセンター」の開設を踏まえ、改めてニーズの把握や、適切な施設整備の検討を進める。



子ども施設の整備計画について

子育て環境の整備について、次の5項目を問う。

保 健所麹町庁舎など、今後の利用方法が未定の建物を有効活用し、東京都認証保育所を誘致してはどうか。

答弁 民間保育施設の誘致と同時並行で検討を進める個別の事案ごとに検証する。

大 規模開発を行う事業所に、保育所の設置を義務付けるべきでは

答弁 より質の高いサービスを提供できるよう整備を進める。

区 立保育園は、今後も区が管理運営し、地域の子育て拠点としていくべきでは。保育園の待機児童が50人以上になっても、厚生労働省に設置面積基準の緩和を申請しないで、子どもたちにとって良好な育成環境づくりを進めるべきでは

答弁 地域特性などを踏まえ、最適な基準でサービスを提供する。

児 童館の現状と今後のニーズ及び施設整備計画の必要性について。

答弁 既存の児童館に加え、区立小学校で「放課後子ども教室」を実施。今後も、サービスの質的向上に向けて、さらに検討を進める。

「たちあがれ日本」代表質問・一般質問

千代田区役所の庁舎は改善されたのか?

包括的な虐待予防の必要性について



はやお恭一 HAYAO KYOUICHI

教育と体罰・暴言の相違点について
医療と介護の連携について
子ども施設の整備計画について

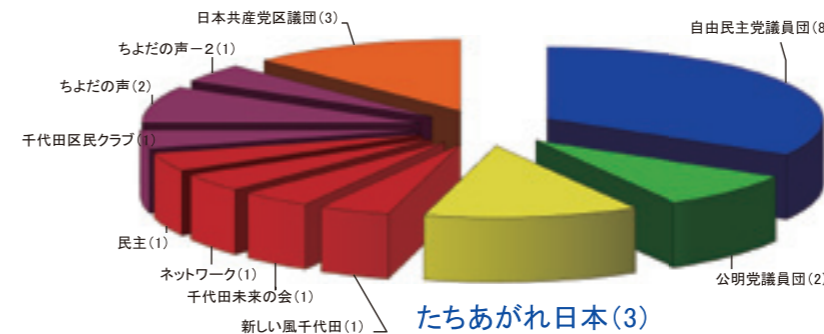


河合良郎 KAWAI YOSHIRO



林則行 HAYASHI NORIYUKI

千代田区議会の新たな会派構成



区議会 平成22年第2回定例会

- 委員会提出議案1(1議案可決)
子ども読書活動のいっそうの推進を求める意見書を内閣総理大臣・文部科学大臣に
- 議員提出議案5(1議案可決)
- 区長提出案件15(15議案可決)

皆様のご意見をお聞かせください。

千代田区議会たちあがれ日本に電話もしくはFAX・Eメールでお気軽にご相談ください。
Phone:03-3254-2111(代) Fax:03-5211-3025(直通) E-mail:info@tachiagare-chiyoda.com



林 則行 一般質問

千代田区役所の庁舎は改善されたのか？

千 代田図書館へのエレベーターは待機時間が長い。案内表示もわかりづらい。区役所入口から誘導ラインを床に引くなど改善を！

答弁 扉や床の案内ライン等、表示方法も研究していきたい。

デ パートのように、エレベーターホールに鏡など設置して待機の時間を利用者本位にできないか？

答弁 検討したい。

日 本橋川から区役所までの道路整備を。区が積極的に推進している川に背に向けた建物でなく水辺の整備をしていく必要があるのではないか？

答弁 工夫できることには取り組んでいきたい。

庁 舎屋上の通信棟を景観に配慮すべきでは？

答弁 電波受信状況への影響や構造上の安全など考慮する。

議会報告 Vol2



は や お 恭 一 一般質問

包括的な虐待予防の必要性について

わが国では、この10年間で虐待防止に関する法整備が次々と進められてきた。背景には、世帯の核家族化や少子高齢社会の進行など複雑多岐にわたる社会的要因が考えられる。現在、虐待事案の増加傾向から行政としても看過できない状況となっている。従って、暮らしの一番身近にある基礎的自治体において、さまざまな虐待に関する相談・通報から予防に至るまで、フットワーク良く連携できる体制を整えておく必要性が高まっている。そこで、以下について区の考えを伺う。

本 区における高齢者や児童への虐待、ドメスティックバイオレンス（以下「DV」）などに対する取り組みの現状と課題について。

答弁 高齢者虐待への対応は、「高齢者安心生活見守り隊」が活動しているが、虐待に気づき、対応できる人材の育成等が求め

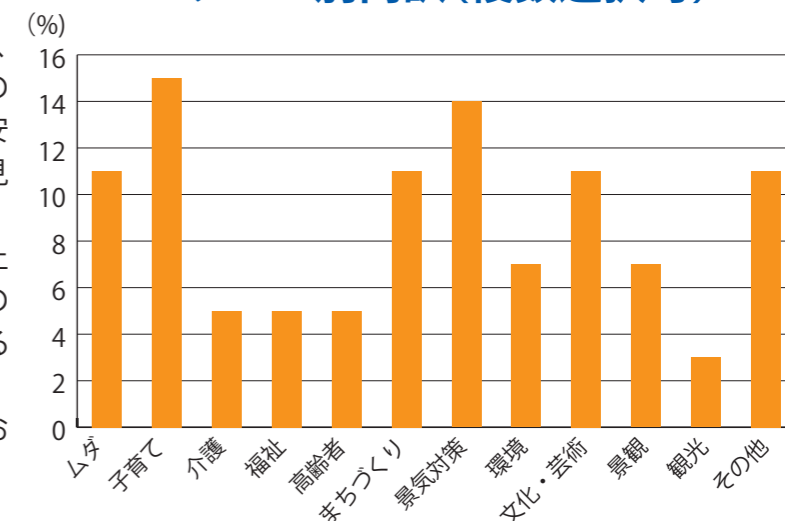
られている。児童虐待は事案が複雑・困難化する傾向にあり、対応が長期にわたることから、各関係者がサポートを粘り強く継続することが肝要である。DVは、広く男女間に起こりうる暴力行為を対象として相談体制を設けている。いずれも内容の多様化に伴い、対応が長期にわたるケースが増加していることから、初期対応や関係機関との連携が重要となっている。

高 齢者や障害者、児童、DV等のような問題に対しても各担当部署間で連携を取って横断的に対応できるような、虐待問題を包括的に捉えた取り組みの必要性について。

答弁 部門別の相談窓口担当者が一堂に会する連絡協議会を設けて、包括的な取り組みへ繋げていく。

議会報告 Vol2

寄せられたご要望・ご意見のテーマ別内訳(複数選択可)



前号にて皆様からのご要望・ご意見を募らせていただいたところ、区民の皆様から貴重なご意見が寄せられました。

身近な暮らしの中でお困りになっていること、現状の改善や今後への期待を含めた区政への提案をはじめ、具体的な国の政策に対する不安や疑問に至るまで、さまざまな忌憚ないご意見を頂きました。

頂いたご意見の一つ一つを真摯に受け止め、次年度の予算要望へ反映するとともにその実現に向けて、会派一同、精一杯努めてまいります。

今後とも区政に関する皆様からのお声をお聞かせください。

FAX送信用紙

あなたの声をお寄せください！

千代田区議会たちあがれ日本へのご要望・ご意見をお書きください。

①ご要望・ご意見のあるテーマの□に印を付けてください。

- ムダ 子育て 年金問題 介護 福祉 高齢者 まちづくり 景気対策
- 環境 文化・芸術 スポーツ 景観 観光 その他

②ご要望・ご意見のある政策課題はなんですか？(例：子育て・介護)

住所 〒 電話番号

氏名(フリガナ) 性別 年齢 職業

※皆様からのご意見は広報などで、個人を特定しない情報として紹介させて頂く場合もあります。※皆様から頂いた全ての個人情報は、区政のために使用し承諾無く第三者に提供しません。